

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード [*] (参考)
H 0 4 H 9/00		H 0 4 H 9/00	5 C 0 2 5
G 1 0 K 15/02		G 1 0 K 15/02	5 C 0 6 1
H 0 4 H 1/00		H 0 4 H 1/00	Z 5 C 0 6 4
H 0 4 N 5/44		H 0 4 N 5/44	A
5/445		5/445	Z
審査請求 有 請求項の数 7 O L (全 9 頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号 特願2001-869(P2001-869)

(22) 出願日 平成13年1月5日 (2001.1.5)

(71) 出願人 599153437

株式会社 ブランテック

神奈川県相模原市橋本2-17-21

(72) 発明者 三 澤 ナ ヲ ミ

神奈川県相模原市橋本2-17-21 株式会
社ブランテック内

(74) 代理人 100093399

弁理士 瀬谷 徹 (外2名)

Fターム(参考) 5C025 AA30 CA20 CB08 CB10 DA05

DA10

5C061 BB20

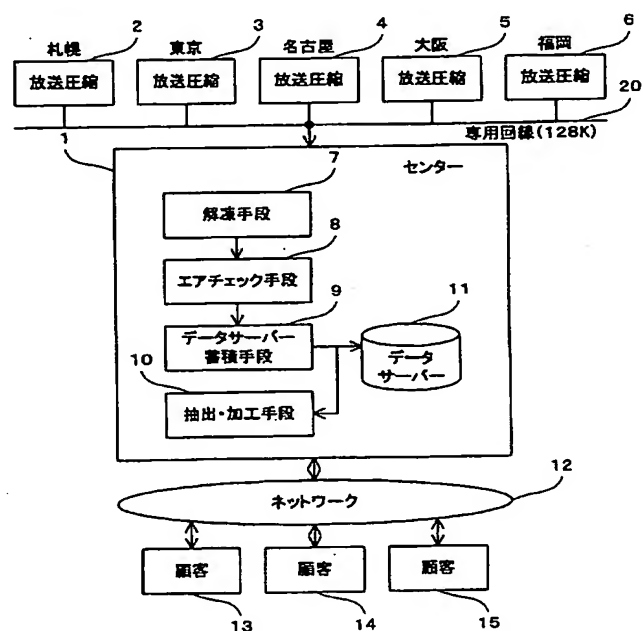
5C064 BA07 BB10 BD02 BD07

(54) 【発明の名称】 オンエア情報収集・配信システム

(57) 【要約】

【課題】 ラジオ・TV放送の各種オンエアデータを常時提供できるオンエア情報収集・配信システムを提供する。

【解決手段】 全国各地のオンエアデータを収集し圧縮して暗号化するデータ圧縮・暗号化手段と、専用回線を通じて圧縮・暗号化データを全国各地からセンターへ伝送する手段と、全国各地から伝送された圧縮・暗号化データを解凍しデコードする解凍手段と、解凍しデコードされたオンエアデータから楽曲を含む番組等を照合・抽出してエアチェックする手段と、エアチェックされた番組を所定の形式でデータサーバーに蓄積する手段と、番組を読み・書き込み可能にコンテンツとして蓄積するデータサーバーと、蓄積されたデータを各種条件に基づいて抽出し、1日分または1週間分の所定の形式リストあるいはデータに加工してネットワークを介し配信・ダウンロード可能な抽出・加工手段とを備える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 全国各地のオンエアデータを収集し圧縮して暗号化するデータ圧縮・暗号化手段と、専用回線を通じて前記圧縮・暗号化データを全国各地からセンターへ伝送する伝送手段と、センターへ全国各地から伝送された圧縮・暗号化データを解凍しデコードする解凍手段と、前記解凍しデコードされたオンエアデータから楽曲を含む番組等を照合・抽出してエアチェックするエアチェック手段と、前記エアチェックされた番組を所定の形式でデータサーバーに蓄積するデータサーバー蓄積手段と、前記番組を読み出し・書き込み可能にコンテンツとして蓄積するデータサーバーと、前記データサーバーに蓄積されたデータを各種条件に基づいて抽出し、1日分または1週間分の所定の形式リストあるいはデータに加工してネットワークを介し配信・ダウンロード可能な抽出・加工手段とを備えることを特徴とするオンエア情報収集・配信システム。

【請求項2】 前記センター内の抽出・加工手段は、日報データとして、各地の放送局が放送した内容に基づく各地放送局データを作成し、該各地放送局データは、「その日にどの放送局でどの番組の何時に何が掛かったか」、「流れた曲はリクエストかゲスト出演か」等、番組の日時、放送局、番組を特定する情報を含む各種情報が分かるように加工され、配信・ダウンロード可能にされることを特徴とする請求項1に記載のオンエア情報収集・配信システム。

【請求項3】 前記センターの抽出・加工手段は、週間データとして、1週間にオンエアされた楽曲等の番組の中から、アーティスト別、メーカー別、邦楽／洋楽別およびAM／FM別等の番組の内容を識別する各種情報をピックアップして加工し、配信・ダウンロード可能にすることを特徴とする請求項1又は請求項2のいずれか1項に記載のオンエア情報収集・配信システム。

【請求項4】 前記センター内の抽出・加工手段は、楽曲等の番組の週間、月間ランキングとして、全国ランキング、および各放送局別ランキングを配信・ダウンロード可能にすることを特徴とする請求項1～3のいずれか1項に記載のオンエア情報収集・配信システム。

【請求項5】 地上波・衛星放送波によるTV放送を受信し録画するビデオ録画手段と、CATV回線を介してCS放送を受信し録画するチューナー受信ビデオ録画手段と、前記各ビデオ録画手段の録画からCM・楽曲等の番組を選択しエアチェックするビデオ・エアチェック手段と、前記エアチェックされたCM・楽曲等の番組を所定の形式でデータサーバーに蓄積するデータサーバー蓄積手段と、前記CM・楽曲等の番組を読み出し・書き込み可能にコンテンツとして蓄積するデータサーバーと、前記データサーバーに蓄積されたデータを各種条件に基づいて抽出し1日分または1週間分の所定の形式リストあるいはデータに加工してネットワークを介して配信・ダウン

ロード可能にする抽出・加工手段と、前記エアチェックの際に前記CM・楽曲等の番組のデータ照合を行う音声・画像認識システムとを備えることを特徴とするオンエア情報収集・配信システム。

【請求項6】 前記抽出・加工手段は、地上波・衛星放送波によるTV放送、CSミュージックチャンネル等のテレビ番組およびCM・楽曲等の番組を日報データとして配信・ダウンロード可能にすることを特徴とする請求項5に記載のオンエア情報収集・配信システム。

10 【請求項7】 個人ユーザーのTV受信機に設置された聴取率測定機を用いてTV放送の聴取率測定を行い、聴取率測定により得られた聴取率データを、ネットワークを介して配信する聴取率測定手段を備え、該聴取率測定手段は、CM・楽曲等の広告評価データを配信することを特徴とする請求項5～6のいずれか1項に記載のオンエア情報収集・配信システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

20 【発明の属する技術分野】本発明は、AM／FMラジオ放送局、地上波・衛星放送波によるTV局、CS放送等で24時間放送されたCM・楽曲等の番組をデータベース化して収集・配信するシステムに関する。

【0002】

30 【従来の技術】従来から、なんとなくスイッチを入れていたラジオやテレビから聞こえてきた曲が気になってもう一度聴きたいと思ったが、曲名もアーティストも分からなくて調べようがないといった経験は誰しも持つところである。こうしたケースに対応できる提案として、例えば、特開平08-162981号に開示の「放送音声再生装置」がある。

40 【0003】図11は従来の放送音声再生装置のブロック図であり、カーラジオセット等で音声受信したアナログ音声信号は、A／D変換部100で所定のデジタル信号に変換され、古い記録信号を順次新しい記録信号に代えて記憶するリングメモリ101に常時記録されている。同時に、受信音声信号は直接、音声再生回路105でリアルタイムに再生されている。再聴要求のボタン103が押されると、読み出し制御回路104は再生出力を切替え、リングメモリ101から指定の曲データを読み出し、D／A変換部102を介して再生する。

【0004】

50 【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来例では、個人がカーラジオセット等で聴取している特定の放送局の曲はチェックできるが、自分のカーラジオで聴取できない他の地域の放送内容はチェックできないという狭い放送範囲を対象とする個人趣向システムであって、全国範囲でラジオ放送、TV放送でオンエアされた放送局別、アーティスト別、邦楽／洋楽別等のジャンル別の音曲リスト、ランキング等のオンエアデータを1週間とか1ヶ月月といった長期間蓄積して業務用に利用で

きるような情報は得られないという問題があった。

【0005】そこで、本発明は、全国各地のラジオのAM/FM放送、TV放送を対象に、音楽番組、CM番組等を24時間モニタしデータベース化して加工することによって、ラジオ・TV放送の音楽、CM音楽等の番組を各ジャンル別に仕分けして、各種の日報、週報リスト、ランキング情報の形で過去の履歴情報も含めて業務用、個人用のオンエアデータとして常時提供できるオンエア情報収集・配信システムを提供することを目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、全国各地のオンエアデータを収集し圧縮して暗号化するデータ圧縮・暗号化手段と、専用回線を通じて前記圧縮・暗号化データを全国各地からセンターへ伝送する伝送手段と、センターへ全国各地から伝送された圧縮・暗号化データを解凍しデコードする解凍手段と、前記解凍しデコードされたオンエアデータから楽曲を含む番組等を照合・抽出してエアチェックするエアチェック手段と、前記エアチェックされた番組を所定の形式でデータサーバーに蓄積するデータサーバー蓄積手段と、前記番組を読み・書込み可能にコンテンツとして蓄積するデータサーバーと、前記データサーバーに蓄積されたデータを各種条件に基づいて抽出し、1日分または1週間分の所定の形式リストあるいはデータに加工してネットワークを介し配信・ダウンロード可能な抽出・加工手段とを備えることを特徴としている。

【0007】請求項2に記載の発明は、前記センター内の抽出・加工手段が、日報データとして、各地の放送局が放送した内容に基づく各地放送局データを作成し、該各地放送局データが、「その日にどの放送局でどの番組の何時に何が掛かったか」、「流れた曲はリクエストかゲスト出演か」等、番組の日時、放送局、番組を特定する情報を含む各種情報が分かるように加工され、配信・ダウンロード可能にされることを特徴としている。請求項3に記載の発明は、前記センターの抽出・加工手段が、週報データとして、1週間にオンエアされた楽曲等の番組の中から、アーティスト別、メーカー別、邦楽/洋楽別およびAM/FM別等の番組の内容を識別する各種情報をピックアップして加工し、配信・ダウンロード可能にすることを特徴としている。請求項4に記載の発明は、前記センター内の抽出・加工手段が、楽曲等の番組の週間、月間ランキングとして、全国ランキング、および各放送局別ランキングを配信・ダウンロード可能にすることを特徴としている。

【0008】請求項5に記載の発明は、地上波・衛星放送波によるTV放送を受信し録画するビデオ録画手段と、CATV回線を介してCS放送を受信し録画するチューナー受信ビデオ録画手段と、前記各ビデオ録画手段の録画からCM・楽曲等の番組を選択しエアチェックす

るビデオ・エアチェック手段と、前記エアチェックされたCM・楽曲等の番組を所定の形式でデータサーバーに蓄積するデータサーバー蓄積手段と、前記CM・楽曲等の番組を読み・書込み可能にコンテンツとして蓄積するデータサーバーと、前記データサーバーに蓄積されたデータを各種条件に基づいて抽出し1日分または1週間分の所定の形式リストあるいはデータに加工してネットワークを介して配信・ダウンロード可能にする抽出・加工手段と、前記エアチェックの際に前記CM・楽曲等の番組のデータ照合を行う音声・画像認識システムとを備えることを特徴としている。

【0009】請求項6に記載の発明は、前記抽出・加工手段が、地上波・衛星放送波によるTV放送、CSミュージックチャンネル等のテレビ番組およびCM・楽曲等の番組を日報データとして配信・ダウンロード可能にすることを特徴としている。請求項7に記載の発明は、個人ユーザーのTV受信機に設置された聴取率測定機を用いてTV放送の聴取率測定を行い、聴取率測定により得られた聴取率データを、ネットワークを介して配信する聴取率測定手段を備え、該聴取率測定手段が、CM・楽曲等の広告評価データを配信することを特徴としている。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明の、第1の実施の形態について図を参照して説明する。図1は本発明の、第1の実施の形態におけるオンエア情報収集・配信システムのブロック図である。図2は図1に示すオンエア情報収集・配信システムの処理の流れ図である。

【0011】図1において、1はコンピュータ・システムとデータベースを有して、全国各地のラジオ音声を取り込み各種のオンエアデータを配信するセンターである。2～6は東京、大阪、福岡、札幌、名古屋の各地のオンエアデータをエンコーダで圧縮・暗号化してセンター1へ伝送する放送圧縮・暗号手段である。

【0012】20はセンター1への専用回線で、例えば、ISDN、128kbitの通信回線等である。7はセンター1内で各地の放送データ圧縮・暗号部2～6からの信号を受信し、デコーダで解凍する解凍手段である。8はエアチェック手段で、音声検知ソフト等を用いてオンエアデータの音曲番組等を抽出整理する。9はデータサーバー蓄積手段であり、エアチェックして整理したラジオ音曲データをデータサーバー11に所定の方法と形式（例えば、HTML、SQL等のデータ処理、圧縮処理等を用いて）で格納する。11はデータサーバーである。

【0013】10はデータサーバー11に格納したオンエアデータを読み出し、各種の日報、週報、ランキング等のさまざまな条件に基づいて加工して、ユーザーの要望に応じたデータを提供する抽出・加工手段である。12はインターネット等の広域ネットワークである。13～

15は顧客となるユーザーで、音曲売上等の業務用データとして使用するレコードメーカー、音楽事務所や、音楽コンテンツとして使用する個人ユーザー等が対象である。

【0014】つぎに動作について説明する。図2はオンエア情報収集・配信システムの処理の手順を時系列に示した流れ図である。図から、先ず、札幌、東京、名古屋、大阪、福岡等の大都市圏でAM/FMラジオ音声を集めて、途中セキュリティを保持し、24時間モニタのために伝送量を削減する意味でデータ圧縮・暗号化処理を行う。WAV、AU、PCM等ファル化された音声データを、エンコーダを用いてMPEGオーディオ等の既製方式により圧縮し、暗号化も電子透かし方式、音声スクランブル等の既存のアルゴリズムを利用して行われる。こうして圧縮・暗号化されたオンエアデータは各地から図1に示した128k専用回線20を介してセンター1に収集される(S100)。

【0015】センター1は各地からのオンエア情報を収集して、デコーダにより解凍処理を行い(S101)、カセットテープ等への録音と、PC等のコンピュータにインストールされた音声検知ソフト等を用いた番組の比較照合処理等により、音曲番組等のエアチェックを行って番組を整理する(S102)、整理された番組はデータベース構築用のデータ処理が行われ、データサーバー11にオンエアデータとして格納される(S103)。ここでのデータ処理は、EXCEL等によるテーブル・リンク、HTML、SQL等の言語による格納処理、その他の圧縮処理等を用いて行われる。

【0016】最後に図1に示した抽出・加工手段10は、データサーバー11のオンエアデータを読み出し、以下のように加工する。

(1)、日報として、図3に示すような音曲番組のデイリー・チャートを作成する。図3はTOKYO-FM局の10月20日(金)のデイリー・チャートの例であり、放送時間、番組名、曲名、アーティスト名、レコード会社、区分、等の項目で構成されている。これを、例えば次の各送局分作成する。

【0017】関東AMデータ(ニッポン放送、文化放送、TBSラジオ、ラジオ日本)、関東FMデータ(TOKYO-FM、J-WAVE、FM横浜、BAY-FM、INTER-FM、NACK5、FM富士、NHK-FM)、関西AMデータ(ラジオ大阪、毎日放送、朝日放送)、関西FMデータ(FM大阪、FM802、KISS-FM、αステーション)、札幌FMデータ(AIR-G、NORTH-WAVE)、福岡FMデータ(CROSS-FM、FM福岡)、名古屋AMデータ(ZIP-FM、FM愛知)、名古屋FMデータ(東海ラジオ)、…(S104)。

【0018】(2)、ウィークリー・チャートとして、同様に週報として1週間分作成する。

(3)、ウィークリー・ランキングとして、図4に示すような週間ランキングを作成する。図4は関東地区の首都圏FM放送の1週間分(10月20日~10月26日)の地区別ウィークリー・ランキングの一例であり、項目は、ランキング順位、放送回数、曲名、アーティスト、発売元、各放送局別回数、等であり、対象放送局は東京FM、FM横浜、J-WAVE、BAY-FM、NACK5、FM富士、InterFM、の7局のオンエアデータをピックアップして、7局全体の首都圏ランキングと各放送局別のランキングを示したものである。

【0019】同様な形式で、これ他にランキングは、全国ランキング(週間、月間)、首都圏AM/FM(週間、月間)ランキング、関西AM/FM(週間、月間)ランキング、札幌FM(週間、月間)ランキング、名古屋FM(週間、月間)ランキング、福岡FM(週間、月間)ランキングや、これらの各放送局別ランキング、リクエストランキング、等も作成できる。…(S105)。更に、以上の他、アーティスト別、メーカー別や、図5に示すような邦楽/洋楽別、AM/FM別発売元グラフ等や、更に、これらに限定することなく、これ以外の各種のバリエーション等も要望に応じて作成し配信することができる。

【0020】これらのオンエアデータはレコード会社、音楽プロダクション等では営業指標として、個人ではミュージック・コンテンツの情報収集として、スポンサーの場合は広告検討資料等に使用できるが、センター1からの配信方法は、例えば、図1に示したネットワーク12を介してHP(ホームページ)等で顧客13~15が発注を行い、センター1からはFAX、オンライン等により配信される。あるいは、ユーザーは、これらコンテンツを表示するオンエアデータ配信センター1のWebページを顧客側に転送できるサービスを利用すれば、煩わしい手続きなしにオンエアデータが得られる。こうしたサービス等を利用すれば、例えば携帯電話用のWebページを用意することで、外出中でも携帯電話に表示できるようにするので、業務の幅も広げられる。

【0021】次に、本発明の、第2の実施の形態について図を参照して説明する。図6は本発明の、第2の実施の形態に係るオンエア情報収集・配信システムの構成図である。図6において、30はデータベースを備えコンピュータ・システムで構成されるTVオンエアデータ配信センターである。31は東京民放TV放送局等の地上波電波と衛星放送波を録画するビデオ録画手段である。

【0022】32はCS-CATV回線チューナー受信手段で、通信衛星によるCSデジタル放送を受信してケーブルテレビCATVにて配信する際に、スクランブルを解除する受信チューナーにあたる。33はそのCATVのTV信号を録画するCATV回線ビデオ録画手段である。34はエアチェック手段であり、各ビデオ録画手段31、33からの番組情報から音声認識システムや画

像認識システム（図示せず）を用いて音曲番組、CM番組等を抽出する。35は音声認識システムで信号比較方式、信号変化検知方式等の音声検知ソフトが用いられる。

【0023】36はデータサーバー蓄積手段でエアチェックしたオンエア番組を、データサーバーに所定の方法と形式（HTML、SQL等の言語処理、圧縮等を用いる）で格納する。37はデータサーバーである。38はオンエアデータ抽出・加工手段で、日報、週報、ランキング等を作成配信する。39は聴取率測定手段であり、個人ユーザーのTV受像機等に設置された聴取率測定機（図示せず）を用いてTV放送の聴取率測定を行い、測定によって得られた聴取率データを、ネットワーク40を介して配信する。40はインターネット等の広域ネットワークである。41～43はユーザーで業務用データとして使用するレコードメーカー、音楽事務所、CM番組視聴率等を点検するスポンサー等の他、個人ユーザーも対象としている。

【0024】つぎに動作について説明する。図7はオンエア情報収集・配信システムの処理の手順を時系列に示した流れ図であり、東京民放5局、日本テレビ、TBSテレビ、フジテレビ、テレビ朝日、テレビ東京等の電波を収集（S200）し、図1に示したビデオ録画手段31で録画する（S201）。同様にCS放送を受信して、CATV回線により伝送し（S202）、チューナー受信手段32によりスクランブル解除キーを記憶するICカードを挿入した受信チューナーを用いてスクランブルを解除し、ビデオ録画を行う（S203）。

【0025】録画手段31、33で録画したTV番組をそれぞれエアチェック手段34によりエアチェックを行う。エアチェックは音声認識システム35の音声検知ソフトや図示していないが画像認識システムを用いて照合し、音曲番組、CM番組等を抽出する。音声検知ソフトとしてはFFT等を用いた波形分析による比較方式、あるいは、番組スタート時点における映像信号、音声信号の立ち上がりエッジを検出する信号検知方式等、各種の認識方式が使用できる。またCM番組などの検出には画像認識システムを採用することも可能である。エアチェックを終えた音曲番組、CM番組等は所定のデータ処理を行ってデータサーバー蓄積手段36によりデータサーバー37に格納される（S204）。ここでのデータ処理は、EXCELによるテーブル・リンク、HTML、SQL等による格納処理、その他の圧縮処理等である。

【0026】続いて、オンエアデータ抽出・加工手段38はWebサイト等を介して行われるユーザー41～43からの注文に基づいて（S209）、データサーバー37に格納した番組を抽出し各種のデータに加工して日報として配信する（S206）。また、週報、ランキング等に加工して配信する（S207）。日報としては、図8に示すように、放送局、番組名と日付毎に、「今日

のランキング、前回のランキング、曲タイトル、アーティスト名、レコード会社、ジャンル別等」、の項目で作成している。

【0027】週報としては、図9に示すように、放送局、番組名毎に、「放送日、曜日、曲タイトル、アーティスト、レコード会社、ジャンル別等」、の項目で作成している。CM番組リストとしては、図10に示すように、放送局名と日付毎に、「放送時間、番組名、広告主、商品名、出演タレント名、曲名、歌手名、発売元、区分ジャンル別等」、の項目で作成している。その他、各種情報が配信可能である。

【0028】又、聴取率測定手段39は、個人ユーザーのTV受像機等に設置された聴取率測定機（図示せず）を用いてTV放送の聴取率測定を行い、測定によって得られたCM番組等の視聴率は広告代理店、スポンサー等のユーザーに伝送されて、広告効果判定の資料として使用される。

【0029】このようにTV音曲番組やCM番組データは、レコード会社や音楽プロダクション、スポンサー、広告代理店等の他、インターネット接続可能なデジタルTVの製造メーカー、携帯電話（iモード、EZweb、Jスカイ等のWebブラウザ機能を備えた電話）の発売元、Web対応のカーナビを備える自動車メーカー、パソコンメーカーや、ラジオやTVコマーシャル音曲を配信する音曲プロバイダー等の他、一般ユーザーにおいても使用可能である。一方、これらのユーザー41～43は、会員登録をしてWebサイト等を介してデータサーバー37を自由に検索することも可能である（S209）。その場合に、ユーザーにはパスワード、ID等が付与される。

【0030】

【発明の効果】以上説明したように、請求項1に記載の発明によれば、全国各地のオンエアデータを収集し圧縮して暗号化するデータ圧縮・暗号化手段と、専用回線を通じて圧縮・暗号化データを全国各地からセンターへ伝送する伝送手段と、センターへ全国各地から伝送された圧縮・暗号化データを解凍しデコードする解凍手段と、解凍しデコードされたオンエアデータから楽曲を含む番組等を照合・抽出してエアチェックするエアチェック手段と、エアチェックされた番組を所定の形式でデータサーバーに蓄積するデータサーバー蓄積手段と、番組を读出・書込み可能にコンテンツとして蓄積するデータサーバーと、データサーバーに蓄積されたデータを各種条件に基づいて抽出し、1日分または1週間分の所定の形式リストあるいはデータに加工してネットワークを介し配信・ダウンロード可能な抽出・加工手段とを備えているので、全国のラジオ・TV放送番組を24時間モニタして楽曲等の番組をデータベース化することで、日報リスト、週報リストおよびランキング情報として業務用および個人用にオンエアデータを常時提供・配信することで

きる。

【0031】請求項2に記載の発明によれば、センター内の抽出・加工手段は、日報データとして、各地の放送局が放送した内容に基づく各地放送局データを作成し、各地放送局データは、「その日にどの放送局でどの番組の何時に何が掛かったか」、「流れた曲はリクエストかゲスト出演か」等、番組の日時、放送局、番組を特定する情報を含む各種情報が分かるように加工され、配信・ダウンロード可能にされるので、全国各地域の各放送局の日報リスト、週間・月間ランキング情報等を常時配信することができる。また、請求項3に記載の発明によれば、センターの抽出・加工手段は、週報データとして、1週間にオンエアされた楽曲等の番組の中から、アーティスト別、メーカー別、邦楽／洋楽別およびAM／FM別等の番組の内容を識別する各種情報をピックアップして加工し、配信・ダウンロード可能にするようにしたので、週間オンエアデータとしてアーティスト別、メーカー別、邦楽／洋楽別およびAM／FM別等にソートした各種情報を配信することができる。また、請求項4に記載の発明によれば、センター内の抽出・加工手段は、楽曲等の番組の週間、月間ランキングとして、全国ランキング、および各放送局別ランキングを配信・ダウンロード可能にするので、各種ジャンル別の月間ランキングリストを常時配信することができる。

【0032】請求項5に記載の発明によれば、地上波・衛星放送波によるTV放送を受信し録画するビデオ録画手段と、CATV回線を介してCS放送を受信し録画するチューナー受信ビデオ録画手段と、各ビデオ録画手段の録画からCM・楽曲等の番組を選択しエアチェックするビデオ・エアチェック手段と、エアチェックされたCM・楽曲等の番組を所定の形式でデータサーバーに蓄積するデータサーバー蓄積手段と、CM・楽曲等の番組を读出・書込み可能にコンテンツとして蓄積するデータサーバーと、データサーバーに蓄積されたデータを各種条件に基づいて抽出し1日分または1週間分の所定の形式リストあるいはデータに加工してネットワークを介して配信・ダウンロード可能にする抽出・加工手段と、エアチェックの際にCM・楽曲等の番組のデータ照合を行う音声・画像認識システムとを備えているので、TV放送、CS放送をモニタして楽曲番組およびCM番組をデータベース化することで、日報、週報リストとして業務用、個人用にTVオンエアデータを常時配信することができる。

【0033】請求項6に記載の発明によれば、抽出・加工手段は、地上波・衛星放送波によるTV放送、CSミュージックチャンネル等のテレビ番組およびCM・楽曲等の番組を日報データとして配信・ダウンロード可能にするので、各TV局、CS放送ミュージックチャンネル

の楽曲番組、CM番組等の日報リストを配信することができる。また、請求項7に記載の発明によれば、個人ユーザーのTV受信機に設置された聴取率測定機を用いてTV放送の聴取率測定を行い、聴取率測定により得られた聴取率データを、ネットワークを介して配信する聴取率測定手段を備え、該聴取率測定手段は、CM・楽曲等の広告評価データを配信するので、聴取率測定によってCM番組の広告評価データをスポンサーに配信できる。

【図面の簡単な説明】

10 【図1】本発明の、第1の実施の形態におけるオンエア情報収集・配信システムの構成図である。

【図2】図1に示すオンエア情報収集・配信システムの処理の流れ図である。

【図3】図2に示すデイリー・チャートの1例を示す図である。

【図4】図2に示すウイークリー・チャートの1例を示す図である。

【図5】図4に示すウイークリー・チャートの邦楽／洋楽別の1例を示す図である。

20 【図6】本発明の、第2の実施の形態に係るオンエア情報収集・配信システムの構成図である。

【図7】図6に示すオンエア情報収集・配信システムの処理の流れ図である。

【図8】図7に示す1日分加工データの1例を示す図である。

【図9】図7に示す7日分加工データの1例を示す図である。

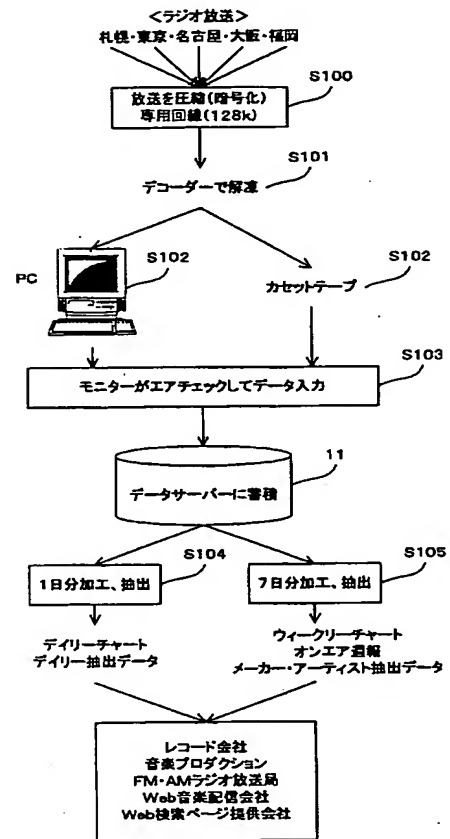
【図10】図8に示す1日分加工データのCM番組リストの1例を示す図である。

30 【図11】従来の放送音声再生装置のブロック図である。

【符号の説明】

- 1、30 センター
- 2～6 放送圧縮手段
- 7 解凍手段
- 8、34 エアチェック手段
- 9、36 データサーバー蓄積手段
- 10、38 抽出・加工手段
- 11、37 データサーバー
- 40 12、40 ネットワーク
- 13～15 顧客
- 20 専用回線
- 31 地上波・衛星放送波ビデオ録画手段
- 32 CATV回線チューナー受信手段
- 33 CATV回線ビデオ録画手段
- 35 音声認識システム
- 39 聴取率測定手段
- 41～43 ユーザー

【图2】



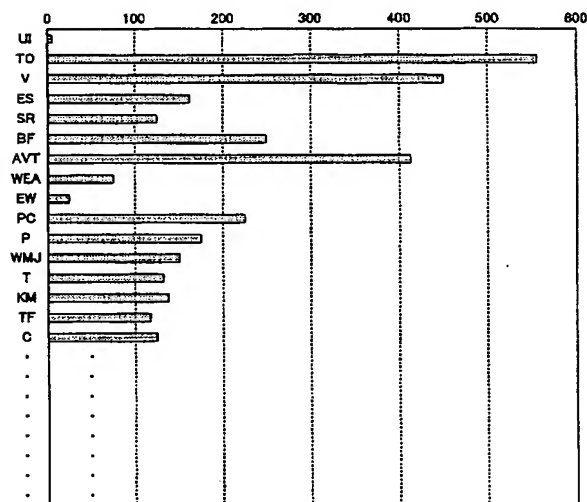
【図 3】

[illegible]

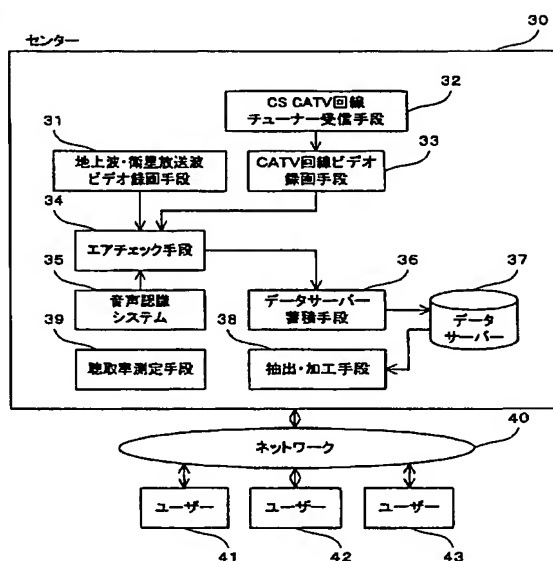
【图 4】

[illegible]

【图 5】



【图 6】



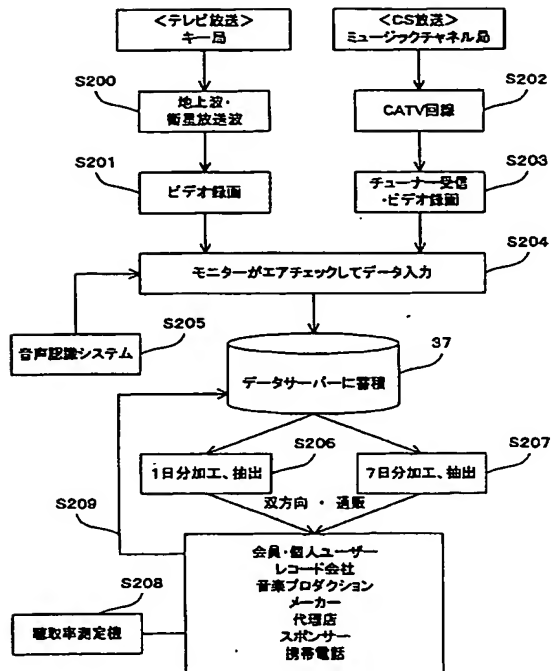
【图 8】

[illegible]

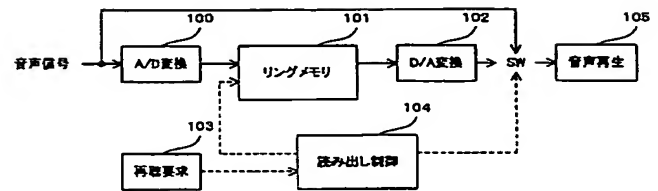
【図 9】

[illegible]

【图7】



【图 1-1】



【図 10】

[illegible]

フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷

H O 4 N 7/173
17/00

識別記号

6 1 0

F.I

H O 4 N 7/173
17/00

テーマコード（参考）

6 1 0 Z
Z

THIS PAGE BLANK (USPTO)